

各学部、各学科、課程の目的及びアドミッションポリシー

各学部、各学科及び課程においては、建学の理念に基づき、人材養成と教育研究の面からそれぞれの目的を以下のとおり定めている。

東京農業大学短期大学部

目的：

本大学は高等学校の教育の基礎の上に生物生産技術学、環境緑地学、醸造学及び栄養学に関する実際的専門職業に重きを置く大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とする。

アドミッションポリシー：

本大学では、人間生活に直接かかわる食糧生産、環境、食品や健康などの課題に興味を持ち、問題解決に向けて意欲的に取組み、社会に貢献できる人材を求めています。

生物生産技術学科

目的：

本学科は、動物と植物の生産を有機的に結合し、地球環境の保全にも配慮した生物生産体系の確立を目指して、講義と実験・実習・演習を連動させた特色あるプログラムによる実学教育を行うことにより、実践的な専門知識と教養を兼ね備えた専門職社会人として社会に貢献できる人材を養成する。

アドミッションポリシー：

本学科では、農業（畜産を含む）または関連産業の後継者になろうとする者、生物生産業または関連産業の経営者、指導者、技術者を目指そうとする者、さらに動植物に興味と関心を有し、身につけた知識と技術で社会に貢献しようとする意欲的な人材を求めています。

環境緑地学科

目的：

本学科は、人と生物とが共存できる緑豊かな生活環境の創造をめざして、人格の陶冶、基礎理論に裏打ちされた思考から現場での問題を解決できる応用能力を身に付け、環境緑化及び造園業の自営者や後継者、緑化・花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与しうる行動力のある人材を養成する。

アドミッションポリシー：

本学科では、公園、庭園、里地・里山および自然植生などの緑地、植物・昆虫・動物、生物多様性などの自然環境分野ならびに環境問題に興味・関心を持ち、時代の要請に則した、緑豊かな生活環境の創造、自然との共生を実現するために努力を惜しまず、知識・技能を身につけようとする意欲を持つ人材を求めています。

醸造学科

目的：

本学科は、実学主義に基づいた実験・実習・演習科目を重視したカリキュラム構成であり、基礎学力の向上とともに最新科学技術と我が国伝統の醸造技術とを総合的に学ぶ点の特徴としている。これらを基に、醸造食品業界をはじめとする社会の様々なニーズに即応可能な実践力を有する人材を養成する。

アドミッションポリシー：

本学科では、醸造、食品、微生物、食品分析、食の機能性、環境などに興味を持ち、醸造および食品業界の発展ならびに食の安全、安心の担保に意欲を持った人材を求めています。

栄養学科

目的：

本学科は、建学の精神である実学と自治を根幹とし、国民一人一人が心身ともに健康で豊かな生涯を送れるように、食生活の改善や運動を通して、心と体の健康づくりに貢献する栄養士を養成する。また、食料の生産から加工・流通・消費及び栄養までの幅広い知識を習得させることにより、食の専門家を育成する。

アドミッションポリシー：

本学科では、食料の生産から消費までの流れの中で、特に食と健康の問題に対応できる専門的な技術者を目指すもの、さらにはこれらを科学的な視野で客観的に捉え、新たな時代の食生活と健康を創造できる意欲あふれる人材を求めています。

学術情報課程

目的：

本課程は、図書館等における各種情報に関する調査・収集・整理・保管・検索・提供等の実務に取り組む実践的かつ専門的知識を身につけた司書を養成する。